

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	成田市における公共下水道整備（重点計画）															
計画の期間	令和０５年度 ～ 令和０６年度（2年間）													重点配分対象の該当	○	
交付対象	成田市															
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。また、印旛沼をはじめとする公共用水域の水質保全に寄与する。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		40	A	40	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R6末	R6末
1	下水道処理人口普及率を、77.6%（R5.4）から78.6%（R7.4）へ増加させる。			
	下水道処理人口普及率	78%	78%	79%
	下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	成田市	直接	成田市	管渠（ 污水）	新設	江川污水 4 号支線・枝管 整備	L=0.4km、A=1.2ha	成田市	■	■				40		-
											小計						40		
											合計						40		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価（案）に対し市民の意見を反映させるため、事後評価（案）を市ホームページで2週間公表し、その期間中に意見の受付を行うものとする。意見の受付方法は、電子メール、FAX、郵送、持参とする。
事後評価（案）に寄せられた意見を踏まえ、必要に応じて内容を修正する。

事後評価の実施時期

令和8年9月～10月

公表の方法

市ホームページで公表する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

未普及対策の江川汚水4号支線整備の実施により、飯仲地区の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、未普及対策として、江川汚水4号支線・枝線の整備を実施する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	79%	
	最 終 実績値	79%	

社会資本整備計画 社会資本整備総合交付金

